

# 第 69 回 毎日書道展中国展

漢字、かな、近代詩文書、大字書、篆刻、刻字、前衛の 7 部門にわたり、毎日書道展の入賞・入選作品のうち、山口県をのぞく中国 4 県の作品や、全国 10 会場を巡回する毎日書道展役員の作品など約 900 点が展示された。

期日 8 月 22 日（火）～27 日（日）  
会場 広島県立美術館 地下 1 階県民ギャラリー

## ■ 開展式

日時 8 月 22 日（火）午前 10 時～  
会場 広島県立美術館 地下 1 階県民ギャラリー

毎日書道展中国展では 900 点の作品が展示された。今年は特別陳列として平安みやびの祭典「尾上柴舟のかな」を展示し、会場は多くの鑑賞の方々に埋め尽くされた。



開展式前会場風景



開展式テープカット



### 大楽華雪 毎日書道会常任顧問による作品案内

入選・入賞の作品も多く盛大にスタートでき、中国展ではうれしい限りです。900点余りの作品を拝見し、今年はとりわけ力作ぞろいを感じました。年配の方、U23へ出品された若い方たち、それぞれ、1点1点がすばらしく感動的な作品でした。毎日書道展はご存知のように大変多彩な作品があります。漢字・かな・近代詩文書・大字書・篆刻・刻字・前衛書と作品は7部門にわたっています。数年前までは、篆刻部門と刻字部門が少なく寂しい時もありましたが、それらの作品もずいぶん増えファンも増えました。書は幅が広く楽しいと思えるようになって頂けると幸いです。今年毎日賞、佳作賞、秀作賞とU23で受賞された方がずいぶん増えました。同時に、90歳を超えてなお出品されている方もおられ、出品者の年齢を感じます。切磋琢磨することで質の向上につながります。

今年、特別展に「尾上柴舟の仮名」を展示し、今までに例を見ない尾上柴舟の素晴らしい作品をご覧いただけます。どうぞ、ごゆっくりご覧ください。

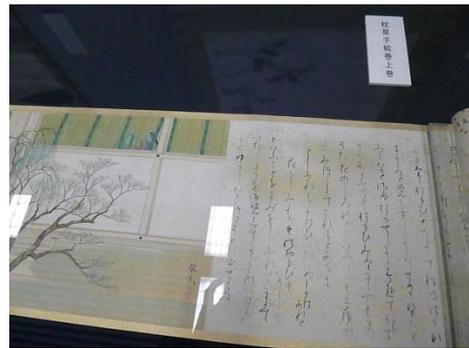
### ■ 特別陳列 平安みやびの再興「尾上柴舟の仮名」



三宅相舟 評議員による特別陳列の解説

尾上柴舟は近・現代の仮名表現の基を作った人で、仮名の原点であります。出身は岡山県津山市で東大を卒業され、国文学や書道史の研究者として活躍されました。今回展示されている軸装は津山からのものもあります。尾上柴舟の理念は王朝、平安仮名の一番優美な、誰の目に触れてもきれいな字にあり、古筆の高野切れ、古今和歌集、粘葉本和漢朗詠集等を徹底的に学んだ、柴舟の美意識の結晶とも言えます。

今回は「枕草子絵巻上巻」を中心に軸を展示しております。平安古筆を背景に書かれた品位と格調の高い作品です。装飾料紙や絵（和歌賛）とのコラボレーションにより、色との調和美を図った総合芸術といえます。門下には若山牧水・前田夕暮らがあります。生でご覧いただけるこの展示ですが、明日から解説もありますのでお越し下さい。



## 顕彰式・祝賀会

### ■ 顕彰式

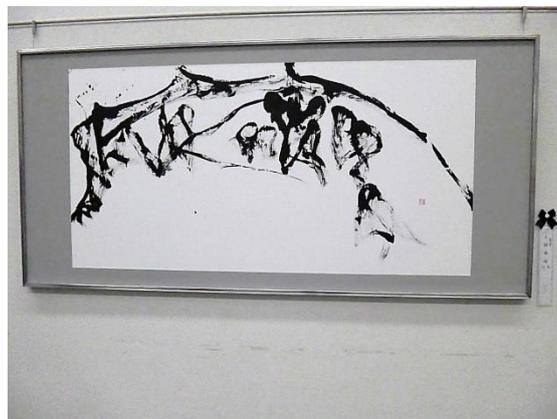
日時 8月22日（火）午後0時半～午後1時20分  
会場 リーガロイヤルホテル広島 ロイヤルホール

一華会員では、顕彰式で会友（無鑑査）にて、佳作賞（漢字部）受賞の杉本美翠さん、公募にて毎日賞（前衛書部）受賞の池田竹葉さん、佳作賞（前衛書部）受賞の槇岡紫風さんに記念品が授与された。

## 大楽華雪 毎日書道会常任顧問による総評



900点という大数の力作を展示でき盛大にスタートすることが出来ました。毎日書道展はわが国を代表する展覧会であり、最大で最高の展覧会です。中国展は鳥取、岡山、島根、広島、中国4県の作品で開催されます。まずは中国展の役員の先生方の素晴らしい作品を見せて頂きました。会員のみなさんの作品、毎日賞等受賞の作品も素晴らしくたくさんの入賞者が各県から各部門に出たことが、今展覧会の特徴と思います。それぞれが努力されたという事、作品作りは大変であるという事、楽しくもあり難しいという事等いろいろな問題を克服して、入賞されたり入選されたりしたわけです。特に、初めて入選された方、U23で入賞された方には、おめでとうと言いたいです。



故 上田幸加さん 「ふくやま」

悲しいこともありました。毎日書道展中国展の為に実行委員としてお世話なされた上田幸加先生を失いました。ご葬儀が済んだばかりではありますが、涙ながらに弔辞を読ませて頂きました。作品を見て頂いたと思いますが、毎日書道展に対して、こんなにも書に傾けていたのかと思いました。お弟子さんのお手伝いからも書家としての執念を垣間見ることが出来ました。「立派だなー」と感動いたしました。そのような方を亡くし

たことが残念でございます。陳列されている作品はご自身の書家としての信念を感じさせております。

中国展のすばらしさを感じて下さればありがたいです。入賞入選なさった方は、この感激を胸に、毎日書道展への出品をさらにつづけて頂きたいと考えます。そして、これからも活躍されることを願っております。

### ■ 毎日書道顕彰（啓蒙の部）贈呈

鳥取市青谷町在住書家 柴山抱海さんの功績を称え毎日書道顕彰が贈呈された。「昭和の三筆」とたたえられる手嶋右卿に師事。30代から海外の個展を重ね、北京やパリ、ニュージーランドなどで新作を発表してきた。山陰から初の受賞となる。



柴山抱海さん

### ■ 毎日賞記念品授与



池田竹葉さん

## ■ 佳作賞記念品授与



榎岡紫風さん

## ■ 祝賀会

日時 8月22日(火) 午後1時35分～午後3時半  
会場 リーガロイヤルホテル広島 ロイヤルホール

## ● 昇格者紹介

審査会員昇格者



大楽悠雪さん

● 新入選者紹介  
U23



峰松健太さん

● 色紙プレゼント



受賞者の皆さんと一華会会員の集合写真



## 受賞者による席上揮毫

### ■ 席上揮毫

日時 8月26日（土）正午～

会場 広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー

#### ● 高校生による席上揮毫（広島・安古市高校書道部）

3年生を含む18人が在籍。昨年は書の甲子園として知られる第25回国際高校選抜書展で2名が入選した。



講評 中塚ひろ子・毎日書道展中国展実行委員長



皆さんご苦労様でした。高校生皆さんのパワーに感激しております。とても立派でした。進学校であり勉強も大変でありながら、高校の部活で書道を一生懸命勉強されています。趣味としての書もしっかり頑張って頂けたら一生自分の思い出になります。大きな思い出になりますから、どうぞこれからも頑張ってください。

● 書家による席上揮毫

席上揮毫されるみなさん

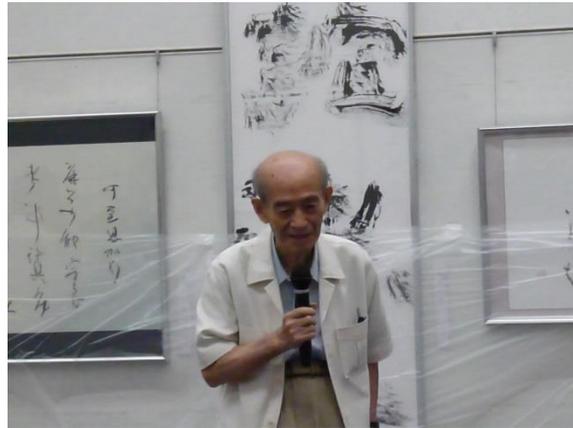


一華会会員の池田竹葉さん  
(奎星会に所属し今展で前衛書部毎日賞受賞) 漢字の揮毫



花はいつでも咲くが、あとから咲いてくる花もまた新しいという意味があり、好きな隷書体で書きました。華が難しかったです。

## 講評 大楽華雪・毎日書道展中国展常任顧問



この度の作品で高校生の書かれた作品、漢字、仮名、近代史文書、前衛書を披露頂いた4名の揮毫者。流麗な仮名作品、近代詩文書の躍動感ある作品、リズムカルでいて力強い漢字、迫力のある前衛書。いずれも、この度の席上揮毫会で成功いたしました。

成功した理由は、ひとえに高校生のみなさん、そのあとの4名の書家のみなさんが、お習字を書いているのではなく、書家であり、芸術家であることに感動いたしました。その様子をつぶさにかたずをのんで見て下さった皆さん方のお陰です。書く人と見る人が一体になったわずかな時間ではありますが、誠に充実した時間でした。この揮毫会を成功させて頂いたのは、一生懸命に見つめて頂いた個々の皆さんのお陰です。

心からお礼を申し上げます。有難うございました。

## 池田竹葉さんと一華会会員の集合写真

